宅 地 概 要 (第一次スクリーニング結果)	【位置図】
盛土番号 長泉町0001 宅地名 造成(許可)年代 昭和45年	The state of the s
所在地住所 長泉町東野	W W E
盛土形式 ■ 人工造成地 ( ■ 谷埋め型 □ 腹付け型 ) □ 自然斜面	
成士取引   盛土面積A   3,968 m <sup>2</sup>   盛土幅W   140.7 m   盛土距離d   77.5 m   天端幅(腹付け型)L   m	
盛土形状	245
宅 地 概 要 (第二次スクリーニング計画の作成)	
	東大學
優先度評価項目 判定(記事)	野
② 盛土および擁壁の形状と構造が □ 非該当 ■ 該当 /	
① 標準的な形状と構造に該当   ( )	
② 宅地地盤・擁壁・のり面の変状 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	河平
□ 有 ■ 無 /	△258.2
③ 地下水 □ □ 〒 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	\$250°2
④ 盛土の下の不安定な土層 □ 7 □ ボ   ( ) □ 不明	
造成在代 ■ 以前 □ 後 /	
⑤ (基準年以前/後)	
⑥ 変動確率	
造成前の地形図と造成後の地形図や航空写真を重ね合わせ、差分図(高低差)を作成し 盛土造成地の範囲の再検証を行った。結果としては、県が現在、公表している「大規模盛土 想定被害形態	
】    造成マップ」で示す範囲より対象地が大幅に縮小(調査前:約40.000㎡ → 調査後:3.968 <del> </del>	RM L L L L L L L L L L L L L L L L L L L
m)した。また、現地調査でも災害発生の切迫や活動崩落を示唆する変状は認められな すべり崩壊・変形	第二次スクリーニング計画 500 250 0 500 m
総  かった。       擁壁倒壊・変形	第一次スクリーニング (4 ) (700 250 0 0 500 11 ) (700 11
また、国の「令和元年度大規模盛土造成地防災対策検討会報告」の参考資料に示される	
「早期に第2次スクリーニングを実施すべき盛土の考え方」で示されるフローを用いて検証し 評した結果、盛土の状態を「経過観察」として、さらに、「大規模盛土造成地の経過観察マニュア	【断面図】
ル」により、当該地はB3(頻度レベル中=5年ごとの定期点検)と評価された。	
B3	
宅 地 概 要 (第二次スクリーニング)	
【地盤定数】                【安定計算結果】	
代表N値   単位体積   粘着力   内部   せん断波   常時   地震時   摩擦角   速度   常時   地震時	
$(kN/m^3)$ $(kN/m^2)$ $(°)$ $(m/s)$	
	亦私又测訊太然
	変動予測調査後
	【工事の記録】
	$\dashv$
गिण्टं-	【点検の記録】
評	

